

日本煉瓦製造（渋沢栄一）創業の煉瓦を発見！

令和3.4.12

－発見場所－



このあたり

桐生倶楽部玄関横の重要文書室とトイレの間に煉瓦塀跡があります。（道路拡張のため、途中で切られています）その文書室側の上の煉瓦平面に『上敷免製』（右読み）の刻印（写真1）を発見しました。この煉瓦は渋沢栄一が故郷深谷に唯一設立した日本煉瓦製造株式会社が製造したものです。上敷免は深谷市の地名で、現在は同所に資料館や大規模な煉瓦釜（国の重要文化財）などがあります。

写真2は桐生倶楽部の設計者、清水巖が清水組（現在の清水建設）の設計室に所属していた頃、技師長田辺淳吉のもと設計図作成に関与した建物、誠之堂の煉瓦の刻印です。平成11年8月東京・世田谷から深谷市に移築復元（清水建設が移築施工）され、平成15年5月、国の重要文化財に指定されました。

桐生倶楽部竣工の同じ年、大正8年に完成した有鄰館煉瓦蔵（写真3）やベーカーカフェレンガ（旧金谷レース工業鋸屋根工場）でも日本煉瓦製造の煉瓦が使用されています。

写真1 桐生倶楽部（大正8年竣工）



写真2 誠之堂（大正5年竣工）



誠之堂の隣の清風亭
スパニッシュ建築

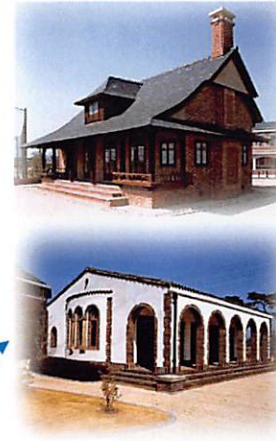


写真3 有鄰館煉瓦蔵（大正8年竣工）

